

被災された方々に心からお見舞い申し上げます

広島県議会議員
(三原市・世羅郡)

くわ き よし のり
桑木良典

議会だより

第21号 2018年10月発行



【平成30年7月豪雨災害の復旧・復興対策に係る予算】(累計：2,000億7,100万円)

区分	8月補正予算	8月専決処分	9月補正予算	累計
一般会計	1,282億2,350万円	4億8,000万円	579億5,100万円	1,866億6,700万円
特別会計	13億6,600万円	—	65億9,500万円	79億6,100万円
企業会計	28億5,300万円	—	25億9,000万円	54億4,300万円
計	1,324億5,400万円	4億8,000万円	671億3,600万円	2,000億7,100万円

*100万円未満を四捨五入しているため計が一致しない場合があります。

7月豪雨災害からの早期復旧・復興にむけて

先般の7月豪雨災害で犠牲となられました方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。県内各地で未曾有の被害が発生し、皆様も大変なご苦労をなされたことと存じます。7月3日から8日にかけての豪雨により、広島県ではじめて大雨特別警報が発令され、県内各地で観測史上初となる降水量を記録しました。豪雨による土砂災害や河川の氾濫が多数発生し、三原市や世羅郡でも大きな被害がありました。県内で亡くなられた方は109名、住家被害は14,926棟、約4,000社の企業が被災、公共土木施設の被害額は1,185億円、農林水産関係の被害総額が765億円にのぼるなど戦後最大級の被害となりました。

私も発災直後から多くの方々より被害状況の連絡を受け、現地を調査し、県をはじめとした関係機関と連携をしながらその対応にあたっておりますが、災害発生時から捜索活動や復旧作業、被災者支援、物資の提供、人的支援などをして下さっている方々や企業、ボランティア、自治体関係者に大変なご努力を頂いております。心から敬意と感謝を申し上げます。

県ではこれまで、二次被害の発生を防ぐための応急復旧を最優先で進めてきましたが、本格的な復旧・復興に向けて「切れ目のない被災者支援」「経済活動の早期再生・新たな展望」「最速の安全確保とインフラの強靱化」の3つの方針のもと、全力で取り組んでいくこととしています。

8月・9月の議会で議決された主な内容を一読下さい。力を合わせてこの難局を乗り越えましょう。

【予算の主な内訳】(一般会計)

- 被災された方々への支援(災害弔慰金や見舞金、災害援護資金貸付金など)…………… 18億9,800万円
- ※「被災者支援チーム」と「被災者こころのケアチーム」がケースに応じた生活再建のお手伝いをします。
- 災害復旧関連事業(被災した道路・河川の修繕、土砂撤去・治山対策など)…………… 1,554億1,700万円
- ※県所管道路132路線272区間、河川12破堤・80箇所越水、土砂災害311箇所、斜面崩壊5,000箇所以上
- ※土砂被害が甚大な木原地区(西福知川)は応急復旧の後、平成31年度末までに砂防堰堤工事を実施する
- 産業支援事業(中小企業、観光客回復、農林水産業の施設や機械修繕など)…………… 263億9,100万円
- ため池の総合対策(下流に人家や公用施設があり、未利用のため池を廃止)…………… 1億6,300万円(特別会計)
- 沼田川流域下水道施設の復旧(沼田川左岸の破損した管の応急措置と復旧工事)…………… 6億6,700万円
- 県営住宅維持管理費(被災者受け入れのための維持修繕や被災住宅の土砂撤去)…………… 1億8,400万円(企業会計)
- 本郷取水場ポンプ設備、河内本郷系送水管、6号トンネルの水道施設復旧など…………… 22億9,600万円
- 本郷取水場の浸水対策や電気設備の更新など…………… 3億8,100万円